

令和6年度 第2回 長野市立博物館協議会 議事録

日 時 令和7年2月27日(木) 午後2時～午後4時
場 所 長野市立博物館 2階 会議室
出席委員 相澤委員・浅倉委員・大串委員・小林委員・宮澤委員・宮下委員
(欠席: 二星委員・牧委員・山貝委員)

1 開会

2 挨拶

(小林部長)

3 会議事項(議長 宮下会長)

(1) 協議事項

ア 令和6年度の事業進捗状況について(成田補佐)

(浅倉委員)「善光寺調査の今後の見込みはどうか。」

(野村主査)「令和元年度から調査を続けているが、全資料の調査には引き続き時間を要する。今後も継続的に進め、市内の寺院に収蔵されている仏教美術などの調査状況も併せて今後報告していく。」

(大串委員)「近代以降の善光寺についての調査も検討してほしい。例えば、戦没者の慰霊や平和博覧会など、善光寺が果たしてきた役割と象徴性に焦点を当てるとよいのではないか。」

イ 令和7年度の事業計画について(成田補佐)

(浅倉委員)「博物館の使命、再編計画等についての進捗状況、今後の予定はどうか。」

(成田補佐)「現在、再編案を作成中であり、令和9年の登録に向けて今後の協議会で説明する。」

(相澤委員)「太陽に関する特別展で長野県出身の三沢勝衛氏についての紹介はあるか。」

(陶山係長)「県内でも代表的な方なので紹介予定である。特別展の宣伝などの協力をお願いしたい。」

(相澤委員)「戦後80年に関連し、川中島古戦場の案内をすると、上杉武田が有名だが地元の人はどうだったのか聞かれることがある。地元では鎮魂のため首塚をつくったりしてきたので、古戦場においても戦後80年をどう位置付けていくのか、地元との関連も示唆される展示になるといい。」

(樋口主査) パネル展を予定している。市民の方がどのように記録や記憶を掘り起こし

てきたか、忘れ去られたもの、戦後に残ったもの等を紹介したい。」

(大串委員)「展示のバトンという意味で、来年は市民科学、市民が勉強して成果を発表する、ということを意識してもいい。太陽の展示、市民自身が掘り起こして明らかにする戦後 80 年は市民がつくる学問と言える。関連して、本館と分館の企画展をより連携させてはどうか。例えば、本館の戦後 80 年展の後に、戸隠地質化石博物館で秋の企画展「昭和の学校を体験！～目からうろこの教材たち～」が開催されるが、学校という舞台を通してみた戦争に関する資料などを展示し、本館の企画展から戸隠の企画展へうまくバトンが渡されるような、博物館全体として相互に連携した展示を作れるとより面白いものができると思う。」

(相澤委員)「地元では古戦場史跡公園に新たに桜を植樹し、来年度も公園内でのイベントを開催予定である。地元としては、公園と博物館と一緒に盛り上げていきたいと考えている。」

(宮澤委員)「収蔵資料のデータベースとはどのようなものなのか。子どもたちが学校や家で、搭載されている資料データをどう利用できるか。」

(陶山係長)「昨年度実装した長野市デジタルミュージアムである。このサイトでは、長野市内の文化財や各博物館が収蔵している資料を見ることができる。ご意見をいただき、随時アップデートをしていく。ぜひ活用していただきたい。」

(小林委員)「学校の社会見学での利用はあるが、子どもたちが興味を持ってこの博物館に足を運ぶことは少ないと感じている。子ども向けの企画展をもっと開催してほしい。次の貝の展示は子どもたちも興味をもちそうなテーマだと思う。」

ウ 博物館の使命と資料の管理及び拡充方針等について（陶山係長）

1-1、1-2、1-3

(大串委員)「資料拡充方針の人文科学分野 3 (1)について、【江戸時代から近現代における人々の…資料群】にしてはどうか。社会が大きく変わる高度経済成長期くらいまでの資料を拡充してはどうか。収集の拡充方針の中に近代という枠を設け、民俗資料ではなく歴史資料として拡充が望ましい。近現代資料についても拡充すべき時期を迎えたと考えている。拡充方針の間口は広い方がよい。」

(浅倉委員)「意識して積極的に集める段階にきている。」

(相澤委員)「昭和 20 年代の青年運動の資料がある。その活動について聞き取りをしているが知っている人はほとんどいない。地域住民からしてもぜひ博物館に

近現代資料の拡充をお願いしたい。」

1-4、1-5

(浅倉委員)「資料受け入れに関する要綱について、資料の評価は誰が行うか。【必要に応じて有識者の意見を聴取する。】という旨を明記した方がよい。」

(陶山係長)「これまでと同様に有識者の意見を聞く、ということを明記する。」

(浅倉委員)「専門家会議の委員からの意見は、今後反映されていくのか」

(陶山係長)「意見を踏まえて検討していく。」

1-6～1-8

(大串委員)「資料の収集については間口を広く、除籍については厳しくするべきである。

また、【1-7 資料の除籍についての付帯事項2 1プロセスの明確化】の内容は付帯事項とせず、【...返却・譲渡・記録を可能な限り行い...】というように1ページ目の序文内に組み込む方がよい。」

(浅倉委員)「1-7 1プロセスの明確化の【これまで使われたことがない。...今後の活用がみこめない。】については判断が難しい。20年後にはどうなるかわからないので、この部分は慎重をお願いしたい。」

(陶山係長)「検討したい」

1-9

エ その他

4 閉会